

作業報告書

平素は弊社医用製品をご愛用いただき厚くお礼申し上げます。ご依頼内容にもとづき、メンテナンス等作業(納品)を行いましたので、ご報告いたします。作業報告書記載事項内容及び留意事項をご確認の上、ご署名をお願いいたします。

お客様名		東京サービスセンタ	
国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院		〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号 リバシティM-SQUARE 8階 TEL 03-5144-8410 FAX 03-5548-3972	
様			

お客様ID	受付番号	作業	区分	保証区分	PJ番号
10027070000-142	6658892	CS	2H	保守契約	MC3120994216

装置名	設置室	据付日
TSX-306A/1W	4F 撮影室16	2019年10月31日

ご依頼内容		受付日		作業内容	
保守点検2025年01月/定期点検2025年01月		2024年4月1日		点検項目に従い作業を実施致しました。 詳細は点検報告書をご参照下さい。 点検済証:F625320 MRC-04649	
作業開始・終了時間					
開始	2025年1月6日17時00分				
終了	2025年1月6日22時30分				
時間内	時間外	往復	合計		
0	10	4	14		
完了					

ユニット	製造番号	作業担当者
TSX-306A/1W	1WA1992008	松川 他0名

使用部品			数量
1	BATTERY \$	図番 AXB003*3V220	2
2	BBU \$	図番 BSX74-2765E*A	1
3	BBU \$	図番 BSX74-2949E*A	1
4		図番	
5		図番	

ご所属	ご署名
	小 森

お客様へ(留意事項のご説明)

※本作業(納品)に関するお問い合わせは、作業報告書記載の受付番号でお願いいたします。また、本作業が有料の場合、別途ご請求申し上げます。

※本作業及び本作業に付随して提供するサービス部品、資料等の物品は、お客様が日本国内で使用または費消されることを前提に販売・提供させて頂いております。輸出または海外に提供される場合には、輸出管理法により規制される場合がございますのでご注意願います。

※お客様の個人情報の取り扱いについて、以下の事項をご了承願います。

1. 作業報告書記載作業の遂行に関連して、お客様よりご提示を受けましたお客様の代表者その他の役職員の個人情報(以下「お客様情報」といいます)につきましては、今後のお客様に対する保守サービス業務の遂行およびお客様に対する各種商品・サービスのご提供やご案内に使用させて頂きます。
2. 弊社は、上記「1.」の使用目的の範囲内において、必要に応じて、お客様情報を弊社認定のもと、弊社が委託する会社へ開示し、使用させて頂く場合がございます。

※交換修理に伴い発生しました使用済みサービス部品(作業報告書『使用部品』欄記載の使用部品の提供と交換に回収する使用済みサービス部品)につきましては、本作業の完了日をもって弊社が受領し、当該サービス部品の所有権が弊社に移転しますことを了承願います。

伝票番号	02715546
------	----------

Aquilion ONE 定期点検報告書

(3ヶ月)

お客様システムNo.	10027070000-142		
お客様名	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院		
室名	16撮影室	SR No.	6658892
実施日	2025年1月6日	～	2025年1月6日
対象システム	TSX-306A/1W		
シリアルNo.	1WA1992008		
点検者	松川、鶴澤		

Canon
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

お客様確認



管理番号	測定機器名	校正有効期限年月
UKE-ID0142	テスター	2026年4月

特記事項

時刻修正実施致しました。ら

ユニット	項目	点検内容	結果	備考
点検作業開始前準備		スライスカウンタ		2322974 スライス
		検査数		62549 スタディ
		ソフトウェアバージョン アプリケーション:		V10.16SP0001J
		ソフトウェアバージョン ベース:		v15.1SP0204
		ローテーションカウンタ:		36004216
	1-1	テストスキャンの実施	√	
	1-2	管球冷却確認 30% 以下	√	
ガントリ内部確認 (DAS 温度器、ファン等)	2-1	DAS 部主検出器温度設定の確認 36℃～38℃	√	
	2-2	DAS 部 冷却ファンの回転確認	√	
	2-3	ガントリ天井ファン動作確認	√	
	2-4	熱交換器・X 線高電圧装置内部ファン動作確認	√	
	2-5	熱交換器運転時間確認	√	
	2-6	検出器・DAS 部コネクタの緩み確認	√	
	2-7	ガントリ吸気ファン動作確認	√	
	2-8	摩耗粉集塵ファン動作確認	√	
コンソール部清掃、 その他		【STNAVI BOX、CON BOX 吸排気 清掃】		
	5-2	吸気口の清掃 STNAVI BOX 前面	CL	
	5-2	吸気口の清掃 CON BOX 前面	CL	
	5-2	排気口の清掃 STNAVI BOX 背面	CL	
	5-2	排気口の清掃 CON BOX 背面	CL	
ガントリ内部清掃 (ファンフィルタ清掃、油漏れ確認)	7-1	T サイトカバーフィルタ部清掃	CL	
	7-2	T メインアンダカバー部清掃	CL	
	7-3	B サイトカバーフィルタ部清掃	CL	
	7-4	検出器窓の入射窓の清掃	CL	
	7-5	R,CONT-ASSY 通気口の清掃	CL	
	7-6	ACユニット通気口の清掃	CL	
	7-7	インバータユニット通気口の清掃	CL	
熱交換器清掃	8-1	X線系冷却液漏れ確認 X線管確認	√	
	8-1	X線系冷却液漏れ確認 熱交換器確認	√	
	8-1	X線系冷却液漏れ確認 ゴムホース確認	√	
	8-2	X線管レセプタクル部確認	√	
	8-3	熱交換器ラジエータの清掃	CL	
	8-4	ケーブル・コネクタ接続確認	√	
	8-6	熱交換器ポンプ動作確認	√	
	8-7	高圧ケーブル締付け確認	√	
コンソール内部ファン、 ガントリ緊急 停止ボタン動作確認	9-1	コンソール内ファン動作確認	√	
	9-1	CON BOXファン動作確認	√	
X線系調整および 出力確認	12-3	If 調整	A	
	12-7	スペクトラルスキャンの確認 (CSDE-004Aがある場合)	√	
駆動系動作確認	13-1	フットスイッチの確認	√	
ガントリ電源電圧確認	14-3	ガントリ200V、400V入力部端子台の緩み確認	√	
	14-3	端子台 (TB1、TB2) のネジの緩み確認 (初年度のみ)	√	
	14-3	ケーブルと端子台の目視確認 (初年度のみ)	適用外	
寝台内部点検	15-18	カバースキマ確認 5mm以下	√	
投光器照射位置確認 カバー取付および 干渉確認	16-8	ガントリ内干渉確認	√	
インタロック動作確認	17-2	テープスイッチの確認 ガントリテープスイッチ	√	
作業まとめと後片付け	18-1	外装状況の確認および清掃	CL	
	18-2	作業まとめ	√	

画質確認	画像ノイズ測定	(1) S領域・1枚目	S.D. 4.24~6.36	5.24	
		(1) S領域・2枚目	S.D. 4.24~6.36	5.21	
		(2) M領域・1枚目	S.D. 8.56~12.84	11.31	
		(2) M領域・2枚目	S.D. 8.56~12.84	11.29	
		(3) L領域・1枚目	S.D. 9.28~13.92	12.28	
		(3) L領域・2枚目	S.D. 9.28~13.92	12.30	
	CT値の確認Φ320 TOSの場合	・1枚目	a. 空気	CT値 : -1020~-980	-
			b. デルリン	CT値 : 330~350	-
			c. アクリル	CT値 : 120~140	-
			d. ナイロン	CT値 : 90~110	-
			e. ポリプロピレン	CT値 : -115~-95	-
			f. 水	CT値 : -5~5	-
		・2枚目	a. 空気	CT値 : -1020~-980	-
			b. デルリン	CT値 : 330~350	-
			c. アクリル	CT値 : 120~140	-
			d. ナイロン	CT値 : 90~110	-
			e. ポリプロピレン	CT値 : -115~-95	-
			f. 水	CT値 : -5~5	-
	CT値確認Φ180 TOSの場合	・1枚目	a. テフロン	CT値 : 900~960	934.6
			b. ポリプロピレン	CT値 : -120~-100	-109.1
			c. 空気	CT値 : -1020~-980	-994.3
			d. アクリル	CT値 : 115~135	126.4
			e. デルリン	CT値 : 315~375	347.3
			f. 水	CT値 : -5~5	1.17
		・2枚目	a. テフロン	CT値 : 900~960	932.9
			b. ポリプロピレン	CT値 : -120~-100	-108.4
			c. 空気	CT値 : -1020~-980	-932.8
			d. アクリル	CT値 : 115~135	126.4
			e. デルリン	CT値 : 315~375	347.2
			f. 水	CT値 : -5~5	1.12

1. 画像ノイズの確認

ファントムをスキャンし、画像ノイズが規格内であることを確認する。

4mm×4の2-stackモードで収集し、得られた8mm厚の画像2枚について、S.D.を測定すること。

(1) S領域

条件:120kV/500mA

1.0sec./8mm

FC70/240mm

Sサイズ水ファントム(240mmφ)

ROI:200X200pixel

(2) M領域

条件:120kV/500mA

1.0sec./8mm

FC70/320.3mm

Mサイズ水ファントム(320mmφ)

ROI:200X200pixel

(3) L領域

条件:120kV/500mA

1.0sec./8mm

FC70/320.3mm

Mサイズ水ファントム(320mmφ)

ROI:200X200pixel

2. 画像ノイズの確認

装置付属のTOSファントムをスキャンし、各部のCT値が規格内であることを確認する。

4mm×4の2-stackモードで収集し、得られた8mm厚の画像2枚について、CT値を測定すること。

・ 320mmφ TOS ファントムの場合

条件:120kV/300mA

1.0sec./8mm/FC70

ROI:26X26pixel

・ 180mmφ TOS ファントムの場合

条件:120kV/300mA

1.0sec./M(dFOV=180mm)/8mm/FC70

ROI:26X26pixel